

今泉工場建替に伴う 環境学習・啓発拠点の検討について

1 環境学習・啓発拠点の現況

本市の環境学習・啓発拠点として、現在は以下の3館を運営

3Rの推進 : 今泉リサイクルプラザ (約700㎡)



▲リユース・リサイクル工房



3Rの推進 : 葛岡リサイクルプラザ (約1,200㎡)



▲3R学習展示



▲リユース・リサイクル工房

環境教育・学習全般 : せんだい環境学習館たまきさんサロン(約160㎡)



▲多様な環境学習講座



▲セミナースペース

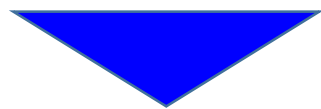


▲環境関連図書

2 検討の背景

今泉工場建替基本計画(中間案)

- 本市の環境に係る現状や取り組みを体系的に学ぶ仕組みが十分ではない
- 新工場は、ごみ処理体制の現状や3R推進等に係る啓発・学習はもとより、地球温暖化など他分野へも広くアプローチを図る取り組みが期待される



今泉工場建替を好機ととらえ、
4つの環境分野を総合的・体系的に学べる環境学習・啓発拠点の整備を検討

3 主な課題と検討の視点

杜の都環境プランの「行動する人づくり」では、「一人ひとりが環境に**関心**を持ち、**理解**を深め、自らが積極的に**環境に配慮した行動を実践**することが重要」としている。

【主な課題】

【検討の視点(案)】

関 心

- ・ 来館者が固定化され、新規開拓の動機付けが不足
- ・ 世代に応じたアプローチが不足

ライフステージに応じた
関心の喚起

理 解

- ・ 場所や情報が分散し、本市の環境を体系的に学べない
- ・ 社会情勢の変化にソフト・ハード面で対応できていない
(脱炭素政策の加速、民間リユース事業の普及等)

仙台の強みを活かし
時代に即した
理解の深化

実 践

- ・ 家庭や多様なフィールドでの環境配慮行動促進が必要
- ・ 環境団体、関心のある市民等の連携や協働が不十分

拠点から広げる
環境配慮行動の実践

※他の学習拠点等との棲み分けを考慮しながら検討

4 環境学習・啓発拠点の構成イメージ

検討の視点(P4)

- 多様な世代への訴求
- 仙台の強みを活かし時代に即した体系的な学習
- 環境配慮行動実践の動機づけ 等



仙台らしい
環境学習・啓発拠点に必要な
スペースや機能 を検討

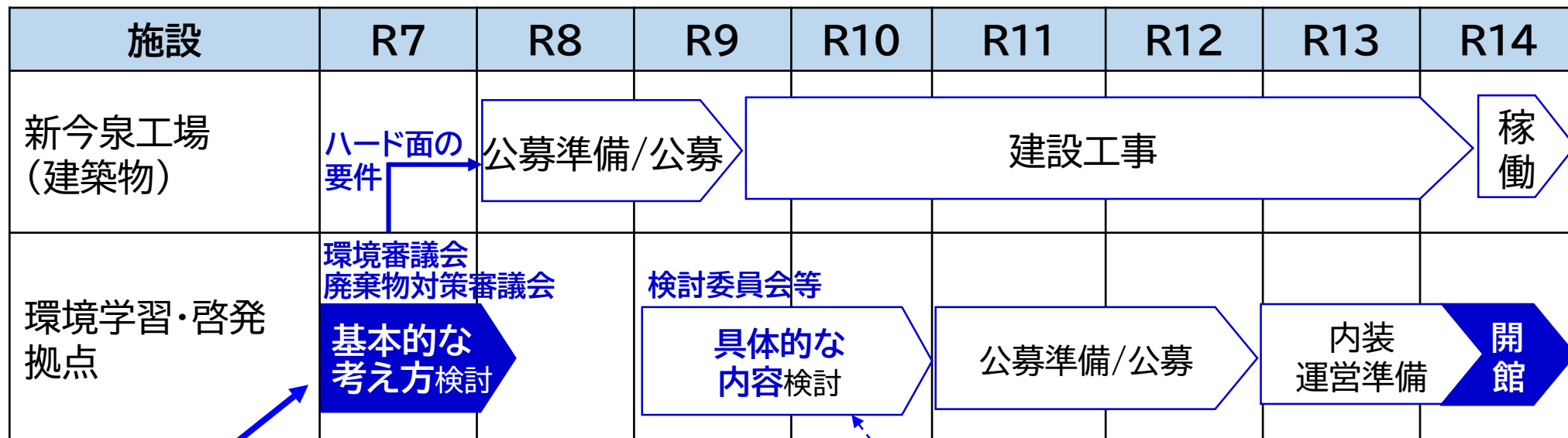
○スペースの例

校外学習に対応した展示室、3Rの実践エリア など

○機能の例

視覚的に分かりやすい展示、柔軟に内容更新できる工夫、
デジタル技術の活用(本市の自然の疑似体験、脱炭素効果の可視化等) など

5 検討スケジュール案



【R7】 基本的な考え方を検討
 ➡ 施設のハード面の要件を整理し
建設工事等の公募要件に反映

環境審議会・廃棄物対策審議会

- ① 検討の視点、情報収集の着眼点(本日)
- ② 情報収集結果の中間報告
- ③ 基本的な考え方

【R9～10】 具体的な内容を検討
 ➡ 展示内容や運営体制等を整理し
設置・運営事業者の公募に反映



本日ご意見いただきたいこと

1. 環境学習・啓発拠点の検討の視点（p4）
 2. 環境学習・啓発拠点の構成イメージ（p5）
検討に向けた情報収集の着眼点
- 
- 